





発電菌

例) シュウネラ菌
ジオバクター菌

割とどこにでもいるよ

できること

- ・有機物を分解
- ・体内の電子を放出できる

動機: 昨年の松の実験&ネットの記事

実験: 顕微鏡で3つの苔をみて、汚れの様子を確認できるか確かめる

仮説: 交通量の多いところは汚染度が高い

←タチヒダゴ

実験手順

(順番通りに)

1. ビーカーに酢酸ナトリウムを入れ、水を注ぐ
2. ガスバーナーの火を当ててガラスをかき混ぜて酢酸ナトリウムを溶かす
3. 酢酸ナトリウムが完全に溶けたら置き、室温(20℃前後)に戻す。
4. 酢酸ナトリウムの溶液に竹串をのめ、もしくは要する量と溶液が凍り、またこのとき50℃くらいに発熱する

-0.5℃

フキ	0分	3分	6分	9分	12分	15分
1回目	23.0	23.0	22.9	22.9	22.5	22.5℃
2回目	24.0	23.9	23.8	23.7	23.4	23.4℃

2023/08/02

仕組み

1. 空気を抜いた泥を電極で挟む
2. 電極で挟む
3. 完成!!!

自分でもできるかも...

永久機関とは・・・

外部からエネルギーを受け取ることなく、永遠に動き続ける装置。

2023/08/02

実験動機